

養護老人ホームやまゆりの里 料金表

表1：入所者に適用される費用徴収基準月額

対象収入による階層区分	費用徴収基準月額	
	円	円
1	0～	270,000
2	270,001～	280,000
3	280,001～	300,000
4	300,001～	320,000
5	320,001～	340,000
6	340,001～	360,000
7	360,001～	380,000
8	380,001～	400,000
9	400,001～	420,000
10	420,001～	440,000
11	440,001～	460,000
12	460,001～	480,000
13	480,001～	500,000
14	500,001～	520,000
15	520,001～	540,000
16	540,001～	560,000
17	560,001～	580,000
18	580,001～	600,000
19	600,001～	640,000
20	640,001～	680,000

21	680,001～	720,000	34,100
22	720,001～	760,000	37,500
23	760,001～	800,000	39,800
24	800,001～	840,000	41,800
25	840,001～	880,000	43,800
26	880,001～	920,000	45,800
27	920,001～	960,000	47,800
28	960,001～	1,000,000	49,800
29	1,000,001～	1,040,000	51,800
30	1,040,001～	1,080,000	54,400
31	1,080,001～	1,120,000	57,100
32	1,120,001～	1,160,000	59,800
33	1,160,001～	1,200,000	62,400
34	1,200,001～	1,260,000	65,100
35	1,260,001～	1,320,000	69,100
36	1,320,001～	1,380,000	73,100
37	1,380,001～	1,440,000	77,100
38	1,440,001～	1,500,000	81,100
39	1,500,001円以上		150万超過額×0.9 ÷12月+81,100円 (100万未満切捨て)

1. 対象収入とは、前年の収入から租税、社会保険料、医療費など必要経費を控除した後の収入をいいます。
2. 3人部屋以上の多床室の場合は、費用徴収基準月額が、減額になる場合があります。
3. 費用徴収月額が、その月におけるその入所者に係る措置費の支弁額を超える場合にはこの表にかかわらず、当該支弁額とします。
4. 月の途中で入所し、又は退所したときは、日割り計算になります。

表2：扶養義務者費用徴収基準月額

税額等による階層区分		費用徴収基準月額
A	生活保護法による被保護者(単給を含む。)	0円
B	A階層を除き当該年度分の市町村住民税非課税の者	0円
C1	A階層及びB階層を除き、前年度の所得税非課税の者	当該年度の市町村税所得税非課税(均等割のみ課税)
C2		当該年度分の市町村民税所得割課税
D1		30,000円以下
D2		30,001～80,000円
D3		80,001～140,000円
D4		140,001～280,000円
D5		280,001～500,000円
D6		500,001～800,000円
D7		800,001～1,160,000円
D8		1,160,001～1,650,000円
D9		1,650,001～2,260,000円
D10		2,260,001～3,000,000円
D11		3,000,001～3,960,000円
D12		3,960,001～5,030,000円
D13	5,030,001～6,270,000円	
D14	6,270,001円以上	その月におけるその被措置者に係る措置費の支弁額

※詳細は市役所、支所にお尋ねください。